

「平成29年度普及に移す成果」

極早生のサーモンピンク色グラジオラス新品種 「常陸はつこい」

新品種「常陸はつこい」は、花色がサーモンピンクで、季咲きで6月下旬開花（到花日数76日程度）と、既存品種の中で最も早く咲く極早生品種です。促成栽培により5～6月に出荷が可能です。

極早生で5～6月出荷が可能です

- ・平成14年に「花かすみ」と「マッチポイント」を交配し、選抜しました。
- ・花色は、サーモンピンクで、黄色のぼかしが入る大輪系です。
- ・開花期は、季咲きで6月下旬であり、「常陸あけぼの」と同時期で、「トラベラ」よりも2週間程度早いです。
- ・マルチとトンネル被覆を組み合わせた促成栽培により、5月中に開花します。
- ・切花長は「トラベラ」よりやや短く、切花重は軽く細身ですが、花数や花径は同等で、同時開花数が多いため、ボリューム感があります。
- ・木子着生量が多いため、球根増殖が良好です。



「常陸はつこい」の花容



「常陸はつこい」の草姿

表1 「常陸はつこい」の促成栽培¹⁾での特性

品 種	花色	開花日	切花長 (cm)	切花重 (g)	花穂長 (cm)	花数 (個)	花径 (cm)	木子着生量 (g/m^2)
常陸はつこい	サーモンピンク	5/24	96	83	52	16	10.9	1.4
トラベラ	鮮ピンク	6/1	112	187	58	17	11.0	1.3

1) マルチ+トンネル被覆栽培。1月23日定植。平成25年調査。

市場、生産者の評価が高い

- ・市場からは、花の大きさと花形が評価され、5月出荷が可能なピンク系品種として期待されています。
- ・生産者からは、やや細身であるものの切り花品質は良好で、収量（採花率）も高く、トンネル栽培に適していると評価されています。

活用上の留意点

- ・穂やけ症が出やすいため、7月以降の高温期の出荷作型での作付けは控えてください。

<問い合わせ先：生物学研究所果樹花き育種研究室 Tel 0299(45)8331
園芸研究所花き研究室 Tel 0299(45)8341>

みんなで進めよう
茨城農業改革

農業総合センター
生物学研究所
園芸研究所